

書かれた内容や考え方などを批判的に読む力を高める中学校外国語科学習指導の工夫 — 読んだ内容を踏まえて思考し、自分なりの意見を表現させる課題を取り入れた単元づくりを通して —

安芸太田町立筒賀中学校 福田 祐子

研究の要約

本研究は、書かれた内容や考え方などを批判的に読む力を高める学習指導の工夫について考察したものである。文献研究から、書かれた内容や考え方などを批判的に読む力を、テキストを読んでその内容や書き手の意向などを理解するとともに、「話すこと」や「書くこと」に結び付けるために評価したり、批判したりしながらテキストを読む力とした。この力を育てるため本研究では、読んだ内容を踏まえて思考し、自分なりの意見を表現させる課題を取り入れた単元づくりを行った。熟考・評価を問う課題を解決させるために、生徒に批判的に読む方略を主体的に発見させ、それを活用させる単元づくりを行った結果、批判的に英文を読み、自分なりの意見を表現できる生徒が増えた。このことから、読んだ内容を踏まえて思考し、自分なりの意見を表現させる課題を取り入れた単元づくりを行うことは、書かれた内容や考え方などを批判的に読む力を高めるのに有効であるといえる。

キーワード：批判的な読み

I 主題設定の理由

中学校学習指導要領(平成20年)外国語の内容(1)言語活動のウ「読むこと」における指導事項の一つに、「(オ)話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方をとらえること。」¹⁾と示されている。このことについて、中学校学習指導要領解説外国語編(平成20年)では、「読んだ後に感想や意見、賛否、またその理由を示すことを念頭に置いて、話の内容や書き手の意見などを批判的にとらえることができるようになることを示している。」²⁾と述べられている。

批判的に読む力について、平成26年度「基礎・基本」定着状況調査によると、書かれた内容や考え方などを捉えて英文を読み、自分の考えを伝えることができるかどうかを見る問題で、県全体の平均通過率は43.6%、また、所属校における通過率は50.0%と低かった。この課題の原因として、読んだ内容に対して自分なりの意見をもたせて、表現させるために批判的に読ませる指導が不十分であったことが考えられる。

そこで、生徒が英文を読んで、書き手の意図を捉え、自分なりの意見をもって表現せざるを得ないような学習をすれば、批判的に読む力を高めることが

できると考える。具体的には次の二つの学習を行う。一つ目は、学習のはじめに、読んだ内容を踏まえて、自分の意見を表現させる課題を与え、生徒がその課題を解決するために必要な読みの方略を見付けて批判的に読み、自分の意見を発表する学習である。二つ目は、生徒により深い思考を促すために、自分の考えを練り直し書かせる課題を与え、生徒が他の生徒の記述を批判的に読み、改めて自分の考えを書く学習である。そのような二つの学習を行えば、批判的に読む力が高まると考え、本研究主題を設定した。

II 研究の基本的な考え方

1 書かれた内容や考え方などを批判的に読む力について

(1) 書かれた内容や考え方などを読むとは

中学校学習指導要領(平成20年)英語の目標で「(3)英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。」³⁾と設定されている。このことを踏まえ、「書かれた内容や考え方などを読む」とは、テキストを読んでその内容や書き手の意向などを捉え、理解することとする。

(2) 批判的に読むとは

平成16年12月に、「OECD生徒の学習到達度調査」(PISA2003)の結果が公表され、日本の生徒の学力について、読解力に大きな課題が示された。そこで、テキストに書かれた情報の取り出しを行う読解力に「解釈」「熟考・評価」「論述」する力を加えたPISA型読解力を向上させることの重要性が文部科学省「読解力向上プログラム」(平成17年)によって示された。その中でPISA型読解力を向上させるための具体的な方向が示され、批判的に読むことの必要性が述べられた⁽¹⁾。

有元秀文(平成20年)は批判的に読むことの一般的な定義として「PISA型読解力向上のための実践指導資料集」で「テキスト(文章や図表)を読んで、正確に理解した上で、その文章の表現が本当に価値の高いものか、その物語の構成や終わり方は本当にそれでよいのか、作者の意見は本当に正しいのかなどと分析し、評価したり批判したりして課題を見つけること」⁽⁴⁾と述べている。

また、有元(2008)は先述のPISA調査での課題は「熟考・評価」の問題ができていないことにあると述べている。有元によると「熟考・評価」とは、本文をよく読んで、自分の体験や知識と結び付けて、自分独自の意見を述べることであり、「熟考・評価」しながら読むことはクリティカル・リーディング(批判的に読むこと)と呼ばれている。

そして、中学校学習指導要領解説外国語編(平成20年)には、先述のPISA調査など各種の調査から見られる我が国の児童生徒の課題として、「思考力・判断力・表現力などを問う読解力や記述式問題、知識・技能を活用する問題」が挙げられたことから、中央教育審議会の答申を踏まえ、外国語科改訂に当たったと述べられている。改訂に当たったの基本方針の一つとして、自らの考えなどを相手に伝えるための「発信力」などの育成を重視する観点から、「聞くこと」や「読むこと」を通じて得た知識などについて、自らの体験や考えなどと結び付けながら活用し、「話すこと」「書くこと」を通じて発信することが可能となるよう、4技能を総合的に育成する指導を充実すると述べられている。このことを踏まえて、内容(1)言語活動のウ「読むこと」の指導事項(オ)では「批判的に読む」ことについて、単に英文の内容を理解するだけでなく「話すこと」や「書くこと」に結び付けるために、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解することが必要であると述べられている。

これらのことから、「批判的に読む」とはテキス

トを読んで内容を理解するとともに、自分独自の意見を述べるために評価したり、批判したりしてテキストを読むことと捉える。

(3) 書かれた内容や考え方などを批判的に読む力とは

(1)(2)より本研究における「書かれた内容や考え方などを批判的に読む力」とは、テキストの内容や書き手の意向などを理解するとともに、自分独自の意見を述べるために評価したり、批判したりしながらテキストを読む力であるとする。

2 読んだ内容を踏まえて思考し、自分なりの意見を表現させる課題を取り入れた単元づくりについて

(1) 読んだ内容を踏まえて思考し、自分なりの意見を表現させる課題とは

先述したことより、生徒に「熟考・評価」を問う課題を解決させることを通して、「話すこと」や「書くこと」に結び付けるために、よく考えて評価しながらテキストを読ませ、批判的に読む力を高めることができる考える。

また、「読解力向上プログラム」(平成17年)を受けて文部科学省から出された「読解力向上に関する指導資料」(平成17年)の中で、テキストを理解・評価しながら読む力を高めるために、何のためにそのテキストを読むのかという明確な目的を設定し、その解決のためにテキストを読む活動に慣れさせることが重要となると述べられている⁽²⁾。

これらのことより、明確な目的をもってテキストを読ませ、熟考・評価を問う課題を解決させることにより、批判的に読む力が高まると考える。そこで、本研究における「読んだ内容を踏まえて思考し、自分なりの意見を表現させる課題」とは、明確な目的をもってテキストを読ませ、自分の体験や知識と結び付けて、自分独自の意見を述べさせる課題とする。

具体例として、学習のはじめに「あなたは中学生が携帯電話を持つことについてどう考えますか。英文を読んだ上で、みんなが納得するようなコメントを考えましょう。」といった課題を与える。そして、生徒には課題を解決するために「中学生は携帯電話を持つべきか否か」というテーマで数人の意見が書かれたテキストを読ませる。これは、読んだことに自分の体験や知識を結び付けて、自分独自の意見を理由とともに述べさせる課題である。

(2) 読んだ内容を踏まえて思考し、自分なりの意見を表現させる課題を取り入れた単元づくり

とは

先述したことより、本研究では、中学生が携帯電話を持つべきか否か、自分以外の生徒を説得する英文を考えるという明確な課題を設定し、課題を解決するために本文をよく読んで、中学生が携帯電話を持つ利点、難点について自分の体験や知識と結び付ける読み方をさせることとする。そして、そのような読み方をするために、生徒は批判的に読む手立てを知る必要があると考える。そこで、生徒が課題解決できるように読みの方略指導に着目した。

竹村雅史 (2000) は読みの方略とは、読み手がテキストを理解するために用いる手立てであると述べている⁽³⁾。また、読みの方略の具体例として、門田修平・野呂忠司 (2001) は「テキストに印を付ける」「メモを取ったり、要約する」「個人的体験と照合する」「書かれている内容に質問、疑問を抱く」などを挙げている。これらの読みの方略は中学生が批判的な読みを行うのに活用できると考えられる。

また、中野幸子 (2000) は批判的な読みを進めるには、読み手自らが自己の読みの方略に目覚め、読者としての役割を果たそうとすること、批判的に読む方を提示してやることによって、より柔軟な読解能力を養うことが必要であると述べている⁽⁴⁾。

これらのことより批判的な読みを進めるために、批判的に読む方略をもつ必要があると考える。また、批判的に読む方略を中心とした次に述べる二つの学習を行うことで、生徒たちは課題を解決させることができ、批判的に読む力を高めることができると考える。

本研究での単元づくりのモデルを図1に示す。

ア 批判的に読む方略を考える学習について

一つ目の学習は、批判的に読む方略を生徒が考える学習である。門田・野呂 (2001) は読みの方略指導について、一方的に教師が指導するのではなく、効果的な読みの方略を生徒に認識させたり、発見させたりすることが必要であり、自分が使用した読みの方略を自ら査定させるなどのメタ認知的方略指導を取り入れることなど、生徒に適した読みの方略が何かを考えさせることも重要であると述べている。そして、適切な読みの方略を指導することで、自律した読み手を育成することが求められていると述べている。このことより、それぞれの生徒に批判的な読みの方略を考えさせ、実際に使用させてその評価を交流するなどにより、読む活動の場面で主体的に批判的な読みの方略を獲得できるようになるものと考えられる。

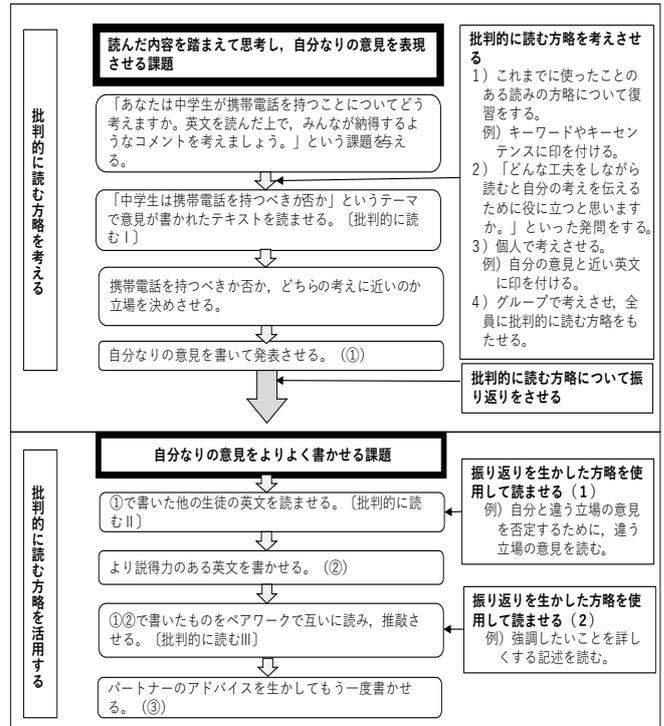


図1 読んだ内容を踏まえて思考し、自分なりの意見を表現させる課題を取り入れた単元づくりのモデル

以上のことから、一つ目の学習では、まず図1に示した課題を与え、生徒が教科書を批判的に読まざるを得ない状況設定をする。次に、批判的に読む方略を考えるために、キーワードやキーセンテンスに印を付けて読むなど、これまでに使ったことのある読みの方略について復習をする。そして、「コメントを考えるために、教科書の英文を自分の考えと比べながら読んでいきます。どんな工夫をしながら読んでいくと、自分の考えを伝えるために役に立つと思いますか。」といった発問をし、教科書の英文を読んでどの文が自分の意見に近いのか判断して印を付けるなど、よく考えて評価しながら読むための方略、つまり批判的に読む方略を考えさせる。生徒は、自分たちで考えた批判的に読む方略を使用して読んだ後、その方略が適切であったかどうか振り返り、適切でないと判断した場合には、他の批判的に読む方略を考える。こうした一連の学習を行えば、生徒は批判的に読む方略を主体的に発見することができるようになる。と考える。

イ 批判的に読む方略を活用する学習について

二つ目の学習は、一つ目の学習で考えた批判的に読む方略を活用する学習である。「読解力向上に関する指導資料」(平成17年)によると、文章などを十分に吟味、評価しながら読む能力の育成については「様々な文章を比較して読む」という視点が含ま

れている⁽⁵⁾。このことより、文章を比較して読むと、よく考えて評価しながら読む力、つまり批判的に読む力を高めることができると考えられる。そして、文章を比較して読む中で、批判的に読む方略を活用できると考える。また、池田玲子（2008）は、仲間同士で推敲作業を行うことについて、仲間から関心をもってもらったり、質問されたりして更に考える機会がもてるので、内容が非常に面白くなったり情報が増えたりするということを述べている⁽⁶⁾。このことより、ペアのパートナーの英文をよくすることを目的に、パートナーの1回目と2回目の英文を比較し、改善点はどこであるのかを読み、3回目の記述に向けてパートナーにアドバイスする活動を通して、批判的に読む方略を活用できると考える。

以上のことから、二つ目の学習では、「更に説得力のあるコメントを考えよう」という課題を示し、生徒が他の生徒の英文を批判的に読まざるを得ない状況設定をする。なお、二つ目の学習では、批判的に読む方略を活用する場面をできるだけ多く設定することで、自分に適した批判的に読む方略を見付けることができると考え、批判的に読む方略を活用する活動を2回取り入れることとする。1回目は、他の生徒が書いた英文を教材として活字にし、自分の書いた英文と比較して読ませる。そして、生徒は自分の意見により説得力をもたせるために、練り直して再び英文を書く。2回目は、更に説得力のある英文を書くために、先述したパートナーの英文を推敲する活動を行う。

これらのことから、本研究における「読んだ内容を踏まえて思考し、自分なりの意見を表現させる課題を取り入れた単元づくり」とは、読んだ内容を踏まえて思考し、自分なりの意見を表現させる課題を解決するために、批判的に読む方略を生徒に考えさせ、その方略を活用させる単元づくりであるとする。

Ⅲ 研究の仮説及び検証の視点と方法

1 研究の仮説

読んだ内容を踏まえて思考し、自分なりの意見を表現させる課題を取り入れた単元づくりを行えば、書かれた内容や考え方を批判的に読む力を高めることができるであろう。

2 検証の視点と方法

検証の視点と方法について、表1に示す。

表1 検証の視点と方法

| 検証の視点 | 検証の方法 |
|-----------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 書かれた内容や考えなどを批判的に読む力を高めることができたか。 | プレテスト ポストテスト ワークシート |
| 読んだ内容を踏まえて思考し、自分なりの意見を表現させる課題を取り入れた単元づくりは、批判的に読む力を高めるのに有効であったか。 | アンケート ワークシート |

Ⅳ 研究授業について

1 研究授業の内容

- 期間 平成27年12月7日～平成27年12月15日
- 対象 所属校第3学年（1学級8人）
- 単元名 Unit5 Electronic Dictionaries — For or Against
- 目標
 - ・書かれた内容から書き手の意図を読み取ることができる。
 - ・話の内容や書き手の意見などを批判的に読むことができる。

2 指導計画（全6時間）

| 次 | 時 | 学習活動 |
|---|---|------------------------------------------------------------------------------------|
| 一 | 1 | ○ 後置修飾、間接疑問文の文構造を学習する。 |
| | 1 | ○ 教科書の英文の書き手の意図を捉える。 |
| 二 | 1 | ○ 課題を解決するために批判的に読む方略を考える。 ○ 批判的に読む方略を用いて、教科書の英文を読む。〔批判的に読むⅠ〕 |
| | 1 | ○ 読んだ内容を踏まえて自分なりの意見を書く。(①) ○ 意見を発表して自己評価、相互評価を行う。 ○ 批判的に読む方略について振り返りをする。 |
| 三 | 1 | ○ 自分なりの意見により説得力をもたせるために、他の生徒の書いた英文を批判的に読む方略を活用して読む。〔批判的に読むⅡ〕 ○ 意見を書き直す。(②) |
| | 1 | ○ ペアで互いに①②の英文を批判的に読む方略を活用して読む。〔批判的に読むⅢ〕 ○ 気付きを互いに伝え合い、アドバイスを受けて自分なりの意見を書き直す。(③) |

Ⅴ 研究授業の分析と考察

1 書かれた内容や考えなどを批判的に読む力を高めることができたか

ここでは、表1で述べた検証の方法を用い、学級全体の変容と、読む活動を苦手とする生徒aの変容を述べることとする。

(1) プレテスト・ポストテストの分析

プレテスト・ポストテストでは、**1**「批判的に英文を読み、自分の意見を表現させる問題」、**2**「書かれた内容や考えなどを捉えて英文を読み、自分

の考えを伝えることができるかを問う問題」について筆記テストを実施した。①については教科書の英文を基に、②のプレテストについては過去の実用英語技能検定の英文を基に、②のポストテストについては平成26年度「基礎・基本」定着状況調査を一部改題して稿者が作成した。また、各項目のB評価以上は、本研究授業の到達目標をおおむね達成したものと考える。

ア 批判的に英文を読み、自分の意見を表現することについての分析

①の問題を図2に、判断基準を表2に、テストの結果を図3に示す。

<プレテスト>
 次の英文は、Mike (マイク) とTomoko (トモコ) の体験について書かれたものです。
 Mike had a stomachache in Japan and asked the doctor in English, "Can I eat dinner tonight?" The doctor said "Kekko desu." It meant "No" to Mike. "Kekko desu" was a difficult word for him.
 Tomoko had a similar experience at a party in America. Her American friend said to her, "Would you like some tea?" Tomoko liked tea the best. So she said, "Oh, I'm sorry." She didn't get any tea. Tomoko was speaking English, but thinking in Japanese.
 問 あなたがトモコだったら、上の英文に書かれている場面で、トモコのような失敗をしないためにどのようにしますか。読んだことを踏まえて、I willに続けて英語で答えなさい。
 <ポストテスト>
 次の英文は、Bill (ビル) が日本人の友だちのTakashi (タカシ) の失敗について書いたものです。
 When you want to order in Japanese restaurants, you usually say, "Sumimasen." in a big voice. But in America, we just make eye contact or raise our hand.
 My Japanese friend, Takashi had a trouble. One day my family took him to a nice American restaurant. He ate a lot and became thirsty. He wanted some water, so he shouted, "I'm sorry! I'm sorry!" Everyone in the restaurant stopped eating and looked at him.
 問 あなたがタカシだったら、上の英文に書かれている場面で、タカシのような失敗をしないためにどのようにしますか。読んだことを踏まえて、I willに続けて英語で答えなさい。

図2 プレ・ポストテスト①の問題 (抜粋)

表2 プレ・ポストテストにおける批判的に英文を読み、自分の意見を表現することについての判断基準

| | 判断基準 |
|---|-------------------------------------|
| A | 英文を評価しながら読み、自分の意見を正しく英文にすることができている。 |
| B | 英文を評価しながら読み、自分の意見を理解可能な英文で書いている。 |
| C | 英文を評価しながら読むことができていない。 |
| D | 無答である。 |

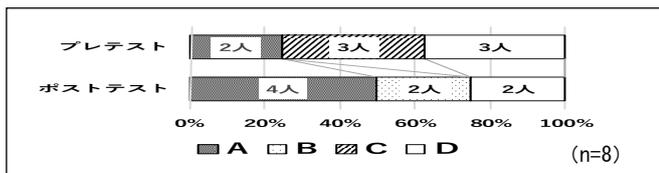


図3 プレ・ポストテストにおける批判的に英文を読み、自分の意見を表現することについての結果

プレテストでは、B評価以上の生徒が2名であったのに対して、ポストテストでは6名に増えた。

生徒aの記述を表3に示す。

表3 プレ・ポストテストにおける批判的に英文を読み、自分の意見を表現することについての生徒aの変容

| | 解答 | 評価 |
|--------|------------------------|----|
| プレテスト | 無答 | D |
| ポストテスト | I will raise our hand. | B |

生徒aはプレテストにおいては、読んだ内容を理解することができず、無答であった。ポストテストでは問われた内容に対して、英文を評価しながら読むことができた。ポストテストでは、生徒aのように、英文を評価しながら読むことができるようになった生徒が増えた。

以上のことより、批判的に英文を読み、自分の意見を表現する力は高まったといえる。書かれた内容と自分の考えを比べながら読む学習や、方略を使用して文章を比較して読む学習を行うことにより、自分の考えを表現するために英文のどこを読めばよいのかを判断できるようになったと考えられる。

イ 書かれた内容や考えなどを捉えて英文を読み、自分の考えを伝えることについての分析

②の問題は、本研究の主題設定の理由となった課題の問題である。①とは形の違うテキストで批判的に読む力を測った。②の問題を図4に、判断基準を次頁表4に、テストの結果を次頁図5に示す。

<プレテスト>
 次の英文は、アメリカの学校に転校したサトシ(Satoshi)が、ブラウン先生(Ms. Brown)から渡されたポスターの内容について、同級生のナンシー(Nancy)に質問しているときの会話文です。英文を読んで、あとの問いに答えなさい。(参加できるのは1, 2年生とポスターに書いてある。)
 Satoshi: Nancy, what is this poster?
 Nancy: Well, this is a poster about making cupcakes. (中略)
 Satoshi: Nice! Can my sister join making cupcakes? She likes cooking.
 Nancy: What grade is she in?
 Satoshi: She is in the second grade. ア Can she join it, too?
 Nancy: (①)。
 問 あなたがナンシーだったら、下線部アのサトシの質問に何と答えられますか。本文中の(①)にあてはまる英文を1文で書きなさい。また、そのように答えた理由を日本語で書きなさい。
 <ポストテスト>
 次の英文は、アメリカの学校に転校したミホ(Miho)が、スマス先生(Mr. Smith)から渡されたポスターの内容について、同級生の(Tom)に質問しているときの会話文です。英文を読んで、あとの問いに答えなさい。(参加できるのは13~17歳とポスターに書いてある。)
 Miho: Tom, what is this poster?
 Tom: Well, this is a poster about summer camp.
 Miho: Oh, really? Can I join it?
 Tom: Yes, you can. (中略)
 Miho: How about my sister? She plays the piano well.
 Tom: How old is she?
 Miho: She is eighteen. ア Can she join it, too?
 Tom: (①)。
 問 あなたがトムだったら、下線部アのミホの質問に何と答えられますか。本文中の(①)にあてはまる英文を1文で書きなさい。また、そのように答えた理由を日本語で書きなさい。

図4 プレ・ポストテスト②の問題 (抜粋)

表4 プレ・ポストテストにおける書かれた内容や考え方などを捉えて英文を読み、自分の考えを伝えることについての判断基準

| 評価 | 判断基準 |
|----|------------------------------------------------------|
| A | 英文を評価しながら読み、自分の考えを正しく英文にし、読んだ英文を根拠にして理由を書いている。 |
| B | 英文を評価しながら読み、自分の考えを理解可能な英文で書いており、読んだ英文を根拠にして理由を書いている。 |
| C | 英文を評価しながら読むことができていない。 |
| D | 無答である。 |

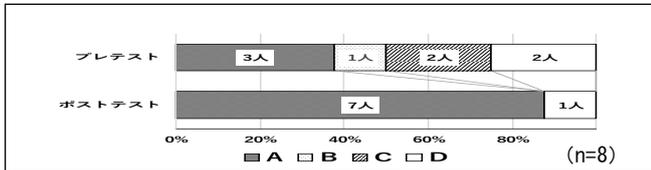


図5 プレ・ポストテストにおける書かれた内容や考え方などを捉えて英文を読み、自分の考えを伝えることについての結果

プレテストではB評価以上の生徒が4名であったのに対して、ポストテストでは7名に増えた。生徒aの記述を表5に示す。

表5 プレ・ポストテストにおける書かれた内容や考え方などを捉えて英文を読み、自分の考えを伝えることについての生徒aの変容

| | 英文 | 理由 | 評価 |
|--------|----------------|-----------------------------------------|----|
| プレテスト | Yes, she can. | サトシが「彼女も参加していいですか?」と聞いているから。 | C |
| ポストテスト | No, she can't. | キャンプは13~17才の人が参加できるが、ミホの姉は18才なので参加できない。 | A |

生徒aはプレテストでは、会話文の内容からポスターのどの部分を読めばよいのか理解できていなかったため、英文の記述は正答であるがポスターの英文を根拠にして理由を書くことができなかった。ポストテストでは、会話文の内容とポスターの情報を評価しながら読み、英文と理由ともに正答となった。生徒aと同様に、評価しながら読むことに課題があった生徒が他にも1名いたが、単元の学習を通して正答できるようになった。

以上のことより、書かれた内容や考え方などを捉えて英文を読み、自分の考えを伝える力は高まり、本研究の主題設定の理由となった課題を改善することができた。批判的に読む方略を使用の上、文章を比較して読ませる学習が、評価しながら読むために有効であったと考えられる。

(2) ワークシートの分析

本研究授業では、「自分のお薦め辞書を買ってもらえるような説得力のあるコメントを考えよう」という課題を解決するために、インターネットの掲示

板で電子辞書と紙の辞書のどちらがよいか議論している教科書の英文を読ませた。〔批判的に読むⅠ〕そして、自分がどちらの辞書を買うのかを決め、1回目のコメントを書かせた。(図6①)1回目に書かせた全生徒のコメントを活字にして読ませ〔批判的に読むⅡ〕、より説得力をもたせたコメントを書かせた。(図6②)①②で書かせたコメントをペアで互いに読ませ〔批判的に読むⅢ〕、最後にパートナーのアドバイスを受けて、最終的なコメントを書かせた。(図6③)

本研究授業で用いたワークシートを図6、判断基準を表6、電子辞書を買うためのコメントを表現した生徒aの記述の変容を次頁表7に示す。

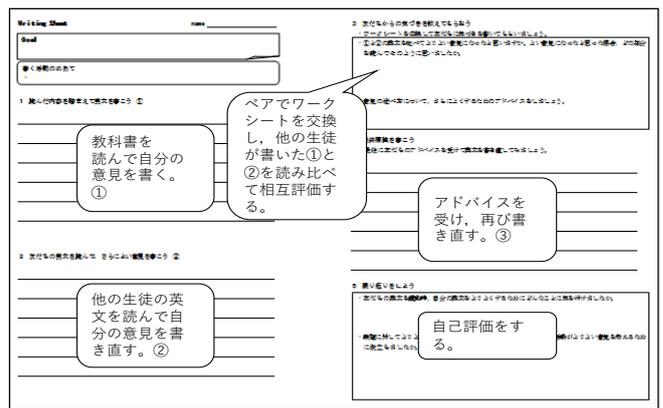


図6 ワークシート

表6 ワークシートの判断基準

| 評価 | 判断基準 |
|----|---------------------------------------------|
| A | 独自の批判的な読みの方略を活用してテキストを読み、読んだことが記述に反映している。 |
| B | 批判的な読みの方略を活用してテキストを読み、読んだことが記述に反映している。 |
| C | 批判的な読みの方略を活用してテキストを読んでいるが、読んだことが記述に反映していない。 |
| D | 批判的な読みの方略を活用して読むことができていない。 |
| E | ワークシートに全く記述がない。 |

次頁表7①の場面では、生徒aは教科書本文の「Finding words in printed dictionaries takes time.」を自分の意見に近いとして線を引き、強調したいとしていたが、記述には反映していなかったためC評価とした。しかし、〔批判的に読むⅡ〕〔批判的に読むⅢ〕の場面では、他の生徒の批判的に読む方略を参考にしながら、自分がよいと判断した表現を記述に反映させることができるようになり、B評価とした。生徒aは、単元の振り返りとしてワークシートに「いろんな人が考えた文を読んで、英文のどの部分が自分の考えに近いのかを考えながら読

めるようになった。」と記述している。これらのことから生徒 a は、多様な意見を評価しながら読む中で、批判的に読む力を高めていったと考えられる。他の7名の生徒も同様に英文をよく考えて評価しながら読み、批判的に読む力を高めていった。

表7 生徒 a の変容

| 活動場面 | 取り入れた方略 | 英文 (原文のまま。下線は稿者による加筆。) | 評価 |
|------|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| ① | く、部分、強に練習を引 | Electronic dictionaries are great! They are light and easier to carry and small. They have many kinds of dictionaries in them. So you don't have to buy a lot of dictionaries. They are very useful. Please buy one. | C |
| ② | 読着使接、目使続、し方詞、てにの | (前略) So you don't have to buy a lot of dictionaries. <u>And if you use electronic dictionaries, finding words takes less time.</u> So they are very useful. Please buy one. | B |
| ③ | 目、の更、しよ、て、読、点、に、着 | (前略) So you don't have to buy a lot of dictionaries. <u>And you can even hear English words.</u> If you use electronic dictionaries, finding words takes less time. So they are very useful. Please buy one. | B |

以上(1)(2)より書かれた内容や考え方などを批判的に読む力が高まったといえる。

2 読んだ内容を踏まえて思考し、自分なりの意見を表現させる課題を取り入れた単元づくりは、批判的に読む力を高めるのに有効であったか

ここでは、表1で述べた検証の方法を用い、学級全体の変容と、他者と関わる中で工夫をして批判的な読みができるようになった生徒bの変容を述べることとする。

(1) アンケートの分析

図7は「英文の内容を『自分ならこう思う。』など、自分の考えと結び付けながら読んでいる」ことに対する生徒の意識を表している。

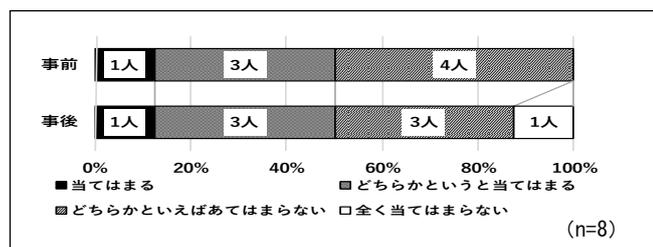


図7 「英文の内容を『自分ならこう思う。』など、自分の考えと結び付けながら読んでいる」ことについてのアンケート結果

事前アンケート、事後アンケートではともに半数の生徒が肯定的な回答をしており、はっきりとした向上が見られなかった。このことより、単元の学習を通して、英文の内容を自分の考えと結び付けながら読んでいくという意識を十分にもたせることができなかつたと考える。

図8は「読んだ内容を踏まえて考え、自分なりの意見を話したり書いたりする授業を通して、英文を深く考えながら読む力が付いたと思う」ことに対する生徒の意識を示している。なお、この質問項目は事後アンケートでのみ扱ったものである。

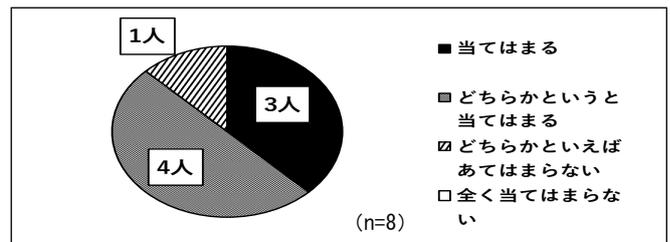


図8 「読んだ内容を踏まえて考え、自分なりの意見を話したり書いたりする授業を通して、英文を深く考えながら読む力が付いたと思う」ことについてのアンケート結果

8人中7人の生徒が肯定的な回答をしている。このことより、読んだ内容を踏まえて思考し、自分なりの意見を表現させる課題を取り入れた単元づくりによって、英文を深く考えながら読む力が付いたという意識を生徒がもっていることがいえる。課題を解決するための読みの方略を考えさせ、その方略を活用させる単元づくりが生徒にとって有効であったかについて、ワークシートで検証を行うこととする。

(2) ワークシートの分析

方略を使用して読んだことについて、自分の意見と近い文にアンダーラインを引くという方略を使用した生徒は「自分の意見と近い文が一目で分かり、比較して読みやすかった。」「相手に何を伝えたいのか整理できた。」などとワークシートに記述していた。また、8名中7名が、方略を使って書かれた内容を比べながら読むことができた振り返っている。

電子辞書を売るためのコメントを表現することに取り組んだ生徒bの記述を、次頁表8に示す。なお、評価は前頁表6の判断基準に基づいて行った。生徒bは「批判的に読むⅡ」の場面で、他の生徒が書いた紙の辞書のよい点である「You can see more information at one time.」を批判的に読み、「自分が探している言葉を見付けるのに時間がかかる」と考え、そのことを次頁表8②の下線部のよう

英文に表した。生徒bは、新たな批判的に読む方略を使うアイデアが浮かんだのは、紙の辞書を薦めている他の生徒の意見を読んだからだ」と記述している。このことより、他の生徒の意見を読むことによって、自分と違った批判的に読む方略を知り、自分なりの新たな批判的に読む方略を考えることができたと考えられる。また、パートナーからのアドバイスを受けて、電子辞書の優れた機能について表8③のように例示している。

生徒bは自ら考え、学習を深めることができた一人であるが、他の7名についても批判的に読む方略を使っておおむね批判的に英文を読むことができるようになった。

表8 生徒bの変容

| 活動場面 | 取り入れた方略 | 英文 (原文のまま。下線は稿者による加筆。) | 評価 |
|------|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| ① | 教科書に自分の考えに近しい印をつけて読む。 | I will introduce very good dictionaries. Their name is electronic dictionaries. If you buy one electronic dictionary, you can use many kinds of dictionaries. And they are lighter than printed dictionaries. So you can carry easily. Please buy one. | B |
| ② | 紙の辞書を否定するたために、紙の辞書を薦めた文を主に読む。 | I will introduce electronic dictionaries. <u>If you use printed dictionaries, you can see more information at one time. But it takes time to find the word which you want to look up.</u> And electronic dictionaries have many kinds of dictionaries in them. So you can use many dictionaries. Please buy one. | A |
| ③ | 強調したくすいたいことを詳しく調べる記述を読む。 | (前略) And electronic dictionaries have many kinds of dictionaries in them. <u>For example, some electronic dictionary have seven dictionaries. But we must buy seven printed dictionaries.</u> So it is difficult to carry printed dictionaries. Please buy one. | A |

以上(1)(2)より、読んだ内容を踏まえて思考し、自分なりの意見を表現させる課題を取り入れた単元づくりは、批判的に読む方略を活用させる学習において、他の生徒の英文を読む活動を行ったことが批判的に読む力を高めるのに有効であったと考える。

VI 研究のまとめ

1 研究の成果

○ 読んだ内容を踏まえて思考し、自分なりの意見

を表現させる課題を取り入れた単元づくりは、書かれた内容や考え方などを批判的に読む力を高めることに有効であったと考える。

2 研究の課題

○ 英文の内容を自分の考えと結び付けながら読んでいくという意識を十分にもたせることができなかった。そのため、自力で批判的に読む方略をもつことができない生徒がいた。自力で批判的に読む方略をもたせるために、活用した方略を振り返らせる中で、個別の支援を取り入れた指導の工夫が必要である。

【注】

- (1) 文部科学省(平成17年)：『読解力向上プログラム』
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku/siryu/05122201/01/014/005.htm
- (2) 文部科学省(平成17年)：『読解力向上に関する指導資料』
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku/siryu/05122201.htm
- (3) 高梨庸雄・卯城祐司(2000)：『英語リーディング事典』研究社p.333に詳しい。
- (4) 高梨庸雄・卯城祐司(2000)：前掲書p.239に詳しい。
- (5) 文部科学省(平成17年)：『読解力向上に関する指導資料』
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku/siryu/05122201.htm
- (6) 池田玲子・原田三千代(2008)：『ピア・レスポンスの現状と今後の課題』
http://teapot.lib.ocha.ac.jp/ocha/bitstream/10083/51247/1/04_46-83.pdf

【引用文献】

- 1) 文部科学省(平成20年)：『中学校学習指導要領』 p.106
- 2) 文部科学省(平成20年)：『中学校学習指導要領解説外国語編』開隆堂 p.16
- 3) 文部科学省(平成20年)：『中学校学習指導要領』 p.105
- 4) 和歌山県教育委員会(平成20年)：『PISA型読解力向上のための実践指導資料集』 pp.10-11

【参考文献】

- 有元秀文(2008)：『必ず「PISA型読解力」が育つ七つの授業改革—「読解表現力」と「クリティカル・リーディング」を育てる方法—』明治図書
- 門田修平・野呂忠司(2001)：『英語リーディングの認知メカニズム』くろしお出版